

授業科目名	基礎看護学Ⅰ(概論)	担当教員名	江川 隆子・二重作 清子			
期 間	前期	履 修 学 年	1	2	3	4
単位数・時間	2単位・30時間		●			
授 業 形 態	講義・演習		●－必修・○－選択			
授 業 の 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業の概要〕 本授業では、看護を学ぶにあたって看護とは何か、現在の看護の考え方はどのような歴史の変遷を経たのか、今後どのようなことが看護に期待されているのかについて学ぶ。保健医療福祉活動を行ううえで重要な役割を担う看護の位置づけを行なったうえで、看護の機能と役割、継続性をもって行われる活動であることを学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕 看護の歴史的経緯や基礎的概念の学習を通して、人々の健康と看護の関りを知る。代表的な看護理論を通して看護の本質を理解し、ヒューマンケアリングの基礎とする。</p>					
授 業 回 数	授 業 の 内 容					
第 1 回	基礎看護学コースガイダンス					
第 2 ～ 4 回	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉における看護の位置づけ ・授業の全体像と看護学を学ぶにあたって 看護の基本となる概念 <ul style="list-style-type: none"> ・看護の本質 ・看護の対象としての人間について、看護の目標である健康について ・人間の生活と環境について 					
第 5 ～ 8 回	看護の理念と歴史の変遷 <ul style="list-style-type: none"> ・看護理論 ・職業としての看護、看護職の養成制度 ・看護職者の教育とキャリア開発 					
第 9 ～ 11 回	看護の機能と役割 <ul style="list-style-type: none"> ・看護活動の場、継続看護、保健医療福祉の連携 ・看護管理 ・看護をめぐる制度と政策 ・専門職能団体の活動 ・看護の国際協力、災害時における看護 					
第 12 ～ 13 回	専門職業人としての看護者の責務 <ul style="list-style-type: none"> ・看護の使命と目的、看護者に要求される資質 					
第 14 回	これからの看護のめざす方向性					
第 15 回	まとめ					
成績評価の方法	授業への積極的参加、提出物、学習態度等を参考に、総合的に評価する。					
テ キ ス ト	<ul style="list-style-type: none"> ・新体系看護学 専門分野Ⅰ 基礎看護学[Ⅰ]看護学概論 藤崎郁他著【医学書院】 ・看護の基本となるもの V.ヘンダーソン:湯楨ます他訳【日本看護協会出版会】 ・看護者の基本的責務 - 「定義・概念/基本法/倫理」、日本看護協会監修【日本看護協会出版会】 					
参 考 図 書	随時紹介する					
履修上の留意点						